

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公開番号】特開2004-167230(P2004-167230A)

【公開日】平成16年6月17日(2004.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2004-023

【出願番号】特願2003-367279(P2003-367279)

【国際特許分類】

**A 6 1 B 3/028 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 3/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月28日(2006.7.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼に視力検査視標を呈示して被検眼の視力を検査する視力検査装置において、被検眼に視標を呈示する視環境を変化させる視環境可変手段と、異なる視環境状態の視標呈示により検査された視力結果の差分を演算し、その差分に基づいて段階的に分類した評価結果を算出する評価手段と、該評価結果を出力する出力手段と、を備えることを特徴とする視力検査装置。

【請求項2】

請求項1の視力検査装置において、前記視環境可変手段は前記視標呈示手段による呈示視標のコントラストを変化させる手段であることを特徴とする視力検査装置。

【請求項3】

請求項1の視力検査装置において、被検眼に向けてグレア光を投光するグレア投光手段を備え、前記視環境可変手段は前記グレア光の投光状態を異なるものにする手段であることを特徴とする視力検査装置。

【請求項4】

被検眼に視力検査視標を呈示して被検眼の視力を検査する視力検査装置において、前記視標の背景輝度を変化させる背景輝度可変手段と、前記視標の透過率を変化させる視標透過率可変手段と、を備えることを特徴とする視力検査装置。

【請求項5】

被検眼の視力を検査する視力検査装置であって、被検眼に呈示する検査視標の光学距離を変更可能な視標呈示手段を備え、該視標呈示手段により検査視標を所定の光学距離にて呈示することにより被検眼の静止視力を検査し、検査視標の光学距離を所定速度で変化させることにより被検眼の動体視力を検査可能な視力検査装置において、被検眼にグレア光を投光するグレア投光手段を備え、前記視標呈示手段による検査視標の呈示時にグレア光を投光してグレア検査を可能にしたことを特徴とする視力検査装置。

【請求項6】

請求項5の視力検査装置において、前記グレア投光手段はグレア光を発する光源と、該光源と被検眼との間に置かれ、前記光源を被検眼に対して実距離よりも離れた位置から投影しているように見せるための投影レンズと、を有することを特徴とする視力検査装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1) 被検眼に視力検査視標を呈示して被検眼の視力を検査する視力検査装置において、被検眼に視標を呈示する視環境を変化させる視環境可変手段と、異なる視環境状態の視標呈示により検査された視力結果の差分を演算し、その差分に基づいて段階的に分類した評価結果を算出する評価手段と、該評価結果を出力する出力手段と、を備えることを特徴とする。

(2) (1)の視力検査装置において、前記視環境可変手段は前記視標呈示手段による呈示視標のコントラストを変化させる手段であることを特徴とする。

(3) (1)の視力検査装置において、被検眼に向けてグレア光を投光するグレア投光手段を備え、前記視環境可変手段は前記グレア光の投光状態を異なるものにする手段であることを特徴とする。

(4) 被検眼に視力検査視標を呈示して被検眼の視力を検査する視力検査装置において、前記視標の背景輝度を変化させる背景輝度可変手段と、前記視標の透過率を変化させる視標透過率可変手段と、を備えることを特徴とする。

(5) 被検眼の視力を検査する視力検査装置であって、被検眼に呈示する検査視標の光学距離を変更可能な視標呈示手段を備え、該視標呈示手段により検査視標を所定の光学距離にて呈示することにより被検眼の静止視力を検査し、検査視標の光学距離を所定速度で変化させることにより被検眼の動体視力を検査可能な視力検査装置において、被検眼にグレア光を投光するグレア投光手段を備え、前記視標呈示手段による検査視標の呈示時にグレア光を投光してグレア検査を可能にしたことを特徴とする。

(6) (5)の視力検査装置において、前記グレア投光手段はグレア光を発する光源と、該光源と被検眼との間に置かれ、前記光源を被検眼に対して実距離よりも離れた位置から投影しているように見せるための投影レンズと、を有することを特徴とする。